

結成25周年を機に見つめなおすカルテットの礎

# カザルス弦楽四重奏団 J.S. バッハ フーガの技法



J.S. バッハ:  
フーガの技法 ニ短調 BWV1080(全曲)  
Johann Sebastian Bach : The Art of Fugue

- コントラプンクトゥス1 [4声]
- コントラプンクトゥス2 [4声]
- コントラプンクトゥス3 [4声]
- コントラプンクトゥス4 [4声]
- カノン14 [2声]
- カノン15 [2声]
- コントラプンクトゥス5 [4声]
- コントラプンクトゥス6 [4声]
- コントラプンクトゥス7 [4声]
- コントラプンクトゥス9 [4声]
- コントラプンクトゥス10 [4声]
- コントラプンクトゥス11 [4声]
- コントラプンクトゥス8 [3声]
- コントラプンクトゥス13 (鏡像フーガ 倒置形) [3声]
- カノン16 [2声]
- カノン17 [2声]
- コントラプンクトゥス12 (鏡像フーガ 正置形) [4声]
- 3つの主題によるフーガ (未完成) [4声]
- コラール「われら苦しみの極みにあるとき」BWV668a [4声]

2023  
11.2 木

19:00開演 (18:30開場)

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

一般: ¥5,800 U30: ¥2,000

※全席指定・税込

一般発売 2023年7月8日(土) 10:00~

■フレイガイド

朝日ホール・チケットセンター

03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

<https://www.asahi-hall.jp/hamarikyuu/>

朝日ホール・チケットセンター 検索

※U30の取り扱いには朝日ホール・チケットセンターのみ

イープラス <https://eplus.jp/asahihall/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

主催: 朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール

特別協賛: 竹中工務店

お問合せ: 朝日ホール・チケットセンター

03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用くださいませ(要予約)。【託児サービスのお問合せ・お申込み】イベント託児・マザーズ: 0120-788-222 ※U30は公演日当日に満30歳以下である方が対象。公演当日、生年月日のわかる身分証(顔写真付き)をご提示の上、座席指定券と交換してご入場ください。座席選択は出来ません。 ※都合により公演内容が変更となる場合がございます。 ※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはございませんので予めご了承ください。



～結成25年の節目を迎えて～

カザルス弦楽四重奏団  
私達が活動を始めた頃、弦楽四重奏のある重鎮から「最初の25年間は一緒に演奏することを学び、次の25年間は別々に演奏することを学ぶ」と言われたことがあります。今、私たちはその節目を迎え、私たちの仕事の核となる謎に立ち向かい続けています。いつ個々の主体性を集団の必要性に引き渡すべきか？私たちは一体なのか、それとも別々なのか？この問題を根本から見直すため、西洋の音楽史上最も深遠な対位法の考察に立ち戻ることにより、私たちの創立記念日を祝うことにしました。バッハの「フーガの技法」です。4つのパート、楽器の指定なし、音の出し方の指示なし、そして1つの大きなエニグマ（謎）…4つの異なる声部が一貫した全体を創りながら、いかにして個性を維持できるか…。

©David Riano



## スペインの至宝、4年ぶりの来日

アルナウ・トーマス  
(チェロ)  
ARNAU TOMÁS, cello

アベル・トーマス  
(ヴァイオリン)  
ABEL TOMÁS, violin

ヴェラ・マルティネス・メーナー  
(ヴァイオリン)  
VERA MARTÍNEZ MEHNER, violin

ジョナサン・ブラウン  
(ヴィオラ)  
JONATHAN BROWN, viola

### カザルス弦楽四重奏団 Cuarteto Casals

1997年マドリッドで結成。2000年ロンドン（現ウイグモアホール）国際弦楽四重奏コンクール優勝（ユディ・メニューイン賞）、2002年ハンブルグのブラームス国際弦楽四重奏コンクール優勝を始めとする数々の国際コンクールで最高賞に輝き、カザルス弦楽四重奏団はヨーロッパで最も注目を浴びる弦楽四重奏団として実力を認められることになった。その演奏は世界各地で絶賛され、これまで、ロンドンのウイグモア・ホールやバービカン・センター、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ニューヨークのカーネギーホールやリンカーンセンター、ベルリンのフィルハーモニーホール、ウィーンの楽友協会など、世界の音楽の殿堂に頻りに招かれており、ヨーロッパ各国、アメリカ、南米、中国への演奏旅行、ザルツブルク音楽祭、クフモ室内音楽祭はじめ、ヨーロッパ

各地の著名な音楽祭へ参加するなど多忙を極めている。スペインが生んだカルテットとして初の国際的名声を確認した功績が認められ、2005年バルセロナ市賞を受賞、06年にはスペインの音楽家にとって最も栄誉ある国民音楽賞を受賞した。また、マドリッドの王宮で、スペイン王室のために製作された貴重なコレクションである名器ストラディヴァリウスのセットを使用した演奏会に定期的に出演する特権を持っている。スペインのモーツァルトと称される天逝の作曲家アリアーガの弦楽四重奏曲全曲のデビューCD（ハルモニア・ムンディ）を2003年にリリースし、仏ディアパゾン誌4つ星等各誌で絶賛された。以降、アルバムを続々リリース。20年に完結した「ベートーヴェン弦楽四重奏曲全集」ボックスCD、21年のモーツァルト「ハイドン・セット」など、既に16タイトルのCDセットをリリースしている。またヨーロッパの重要な現代作曲家たちとの共同の仕事にも積極的に取り組み、多くの作品の初演や

初録音をしている。同カルテットは、アルバン・ベルク弦楽四重奏団、ヴァルター・レヴィン（ラサール弦楽四重奏団）、ライナー・シュミット（ハーゲン弦楽四重奏団）、ヴェロニカ・ハーゲン（ハーゲン弦楽四重奏団）、ハラルド・シェネヴェーグ（ケルビーニ弦楽四重奏団）等のもとで研鑽を積み、彼らから多くの影響を受けている。2007年初来日。以降09年、11年、14年、19年に日本ツアーを行った。18年6月には「サントリーホール・チェンバーミュージック・ガーデン2018」に招かれ、ベートーヴェン・チクルス（全6回）で絶賛を博した。2020年9月より「バルセロナ弦楽四重奏団 エンナーレ」の芸術監督も務めている。2022-2023シーズンに結成25周年を迎えるにあたり、弦楽四重奏の本質的な疑問に向き合うため、25周年記念プログラムとして「バッハ：フーガの技法（全曲）」に取り組みことを決意、ハンブルク、ベルリン、フランクフルトほか、ヨーロッパ各地の著名ホールで演奏している。



＝Web会員募集中＝ お申し込み **朝日ホール・チケットセンター** 検索 ※「会員登録」ボタンからご登録ください。

**特典1**  
登録料  
年会費無料

**特典2**  
会員向け  
先行販売  
TICKET  
※先行販売を実施しない公演もあります。

**特典3**  
24時間  
購入可能

**特典4**  
座席選択が  
可能

**特典5**  
最新情報の  
お届け



### 浜離宮朝日ホール

東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社 新館2階  
TEL.03-5541-8710

交通のご案内 都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ  
エレベーターはA3出口